

平成 21 年 第 1 回行財政改革推進市民委員会 論議要旨

- 1.日時 平成21年2月24日(水) 9：30～12：00
- 2.場所 市役所10階第5B会議室
- 3.出席委員 石橋委員、遠田委員、加藤委員、仙北谷委員、竹鼻委員、中田委員、
中野委員、村上委員、山崎委員、
(以上9名、欠席：菊池委員)

4.論議要旨

事務局 ただ今から、平成21年第1回目の行財政改革推進市民委員会を開催させていただきます。

副市長 (開会にあたっての挨拶)

事務局 (新しい委員の紹介)

(事務局職員の紹介)

(委員長の選出)

各委員 (職務代理者の指名)

委員長 それでは、レジュメに従いまして、行財政改革市民委員会の開催状況について、事務局から説明をお願いします。

事務局 (行財政改革推進市民委員会の趣旨及びこれまでの開催状況について説明)

委員長 今の説明に対して何か質問、ご意見はありませんか。

続きまして、帯広市の行財政改革の取り組みについて説明をお願いします。

事務局 (新たな行財政改革に関する基本方針及び実施計画について説明)

A委員 この行財政改革市民委員会の位置づけはどのようなものですか。

事務局から説明のあった資料を承認することを担っている委員会なのでしょうか。

委員長 行財政改革に関する説明について市民レベルで疑問な点があれば、そのことについて行政から説明を受けるといえるものです。

A委員 新たな行財政改革について、これだけの資料を示されて、この委員会がどのような判断をするのですか。

事務局 今回、委員も新しくなり、現在進んでいる新たな行財政改革について、内容を理解していただくために説明したものであり、このことについて、意見をいただいで見直すものではありません。

B委員 行政を監視するのは市議会の役割だと思います。市議会が緊張感を持って機能することが重要だと思います。

行政に対する疑問を述べ、それに対して市が応えることがこの委員会の役割ではないでしょうか。そのような意味では、協議する項目と報告する項目を整理しておく必要があります。

疑問があれば、資料を求めて継続して審議していく、このような考え方でよいのではないのでしょうか。

委員長 市民の率直な意見を述べ、市から説明をいただくというものです。

事務局 資料3をご覧ください。

帯広市行財政改革推進市民委員会設置要綱第2条では当委員会の所掌事項を、行財政改革の推進に必要な計画策定に資する提言や行財政改革の進捗状況の報告に対する意見を述べることとされています。

従いまして、今後、新たな行財政改革の取り組みに関する報告に対して、市民の視点で意見を頂き、それに対して市が応えていくという場面が多くなると考えています。

C委員 行財政改革の計画が決定するまでのフローについて理解できるものを作成していただけないでしょうか。

行財政改革市民委員会や市議会の関わりなど、どこでどのような人たちが関わって計画が策定されるのかを、わかりやすくフローにまとめていただけないでしょうか。

委員長 事務局に作成をお願いします。

事務局 行財政改革の計画策定の流れの資料については、早急に作成します。

D委員 私は今回で5期目になるので、今回の委員の中では最も長くこの委員会に関わっています。これまでの委員会のイメージでは、委員それぞれの立場で行政に対する意見を述べれば良いのではないかと思います。

細かい話では、除雪に関する意見で、民間委託により、直営に比べ除雪技術が低下した等の意見もありましたし、時には、市役所の組織図を持って来られた人もおりました。

このようにその時々委員一人ひとりの個性が出ており、行政に対する率直な意見を正直にお話し、説明を受けることがこの委員会だと思います。

そういう意味では、この委員会は、行財政改革の進行管理の時期においては、意見を取りまとめて何かをするということはありませんでした。

また、行財政改革の計画づくりの際には、委員一人ひとりの意見を拾い上げ、提言にまとめました。

委員長 今の意見にもありましたように、本日は市民のレベルで自由な発言をしていただきたいと思います。

- A委員 帯広市の人口が周辺3町1村に流出しているが、このような状況の中で帯広市は今後どうするのか、どのようなことをお考えなのか。
- 今後、帯広市から流出した人を呼び戻すために、魅力ある行財政改革を含めた施策を実施していく必要があると考えているが、どのようなことをお考えなのか。
- 委員長
事務局 人口減少に対する意見がありましたが、事務局からの説明をお願いします。
- 周辺3町は、経済圏域としては同じような状況の中で、帯広市というネームバリューで人口流出を防いできたものの、近年、そのような意識も薄らぎ、地価の安い3町への人口流出が顕著であります。
- 帯広市においても、住宅政策としての土地区画整理事業などが行われていますが、帯広市の中心部を中心に円を描くと、どうしても3町の方が帯広市の中心部に近いなど、人口の流出には様々な要因があります。
- 今後も帯広市は、しっかりした経済基盤のもとで効果的な施策を実施する必要があると考えています。
- 帯広市の施策は、高齢者、子育てなど多くの部分で北海道全体の自治体と比較しても、かなり手厚いと思うのですが、そのことを宣伝するのが下手なのかかもしれません。
- 現在、10年後の将来を見据えた総合計画の策定作業中ですが、人口対策など、本市の将来の方向性について示す中で、高齢者、子育て、人口対策の手立てを考えていきたいと思えます。
- 委員長 人口減少の話がありましたが、欧米では必ずしも人口増が都市の繁栄に結びついていません。
- 公共施設などは人口が少なければ使えるが、逆に人口が多ければ使いにくくなります。公共施設の数と同じなのですが、どれだけ住民がそれらを使えるのか、そこから郷土愛が生まれます。
- 欧米では、人口増を目指す都市は少ない状況です。
- E委員 高齢社会において、生産人口が減少していることが問題だと思います。
- 人口がバランス良く、少なければ良いのですが、そのバランスが崩れているところに問題があります。
- 支える人たちが少なくなって、支えて欲しい人たちが多くなるのが問題で、そのあたりを考えたバランスのとれたコンパクトシティが理想だと思います。
- C委員 私は講師をしています。学生は、十勝から出られない、出たくない子供達が入学します。
- 外を向いている子供達は、経済的にも余裕があって、札幌や東京へ行って戻ってきません。
- 十勝で生活したくても、十勝では十分な賃金が得られないから、札幌など

の大都市へ行くこともあります。

今、若者を救わないと、帯広十勝から若者がいなくなってしまう。また、子どもを産もうと思っても、育てる環境が厳しい。

帯広市は少子化対策に予算を重点的に配分しなければ、行財政改革の話をする人もいなくなってしまう。

委員長 人口問題はどの都市でも起こっている問題、これからの自治体において避けられない問題です。

F委員 帯広市は高齢者に多額の予算を投入しています。特に選挙が近くなるとそうなるような気がします。

高齢者は数も多いし、これまでの人脈などにより行動を起こし、結果として予算がつきます。

しかし、子育てに関わる人たちは声も小さく、なかなか予算がつかない、そのあたりのバランスが大事です。

C委員 帯広市から提供されるサービスには、満足しています。パブリックコメントもホームページで見ることができるし、意見を出す機会もいろいろあります。

ただ、パブリックコメントを実施しても、その分野にあまり関係のない人は意見を書きたくても書けません。できればその分野のひとたちのところに出向き、意見をいただくようにしてはどうでしょうか。

G委員 帯広市行財政改革実施計画の取組項目の中に「職員提案制度の検討」とあるが、職員がいろいろなことを考えても人間力が備わっているかどうかの問題だと思います。

たとえ仕事ができたとしても、本当の人間として生活できる力があるのか、将来自分たちがこの街に住もうと考えた時に、人として何をすべきなのか、職員としての基本的な教育をどなたがされるか、そこが出来上がらない限り、ペーパーだけを作成しても、本当の意味のまちづくりや少子化対策などを担えるのでしょうか。

少子化対策やパブリックコメントを実施しても、どのような人が育つかがキーポイントとなります。

平成21年度予算を見ると、一点集中ではなく、総花的に感じられます。

環境モデル都市の指定など、そこに予算を集中し、これでコメントを出すべきではないでしょうか。

B委員 帯広市行財政改革実施計画のまえがきにある目標額の56億円の根拠について説明願いたい。

今回の実施計画の目玉は、市場化テスト、節約して金を生み出すというイメージがあります。

帯広市の提供するサービスの枠組みを変えるとこの話になると非常に大きな話になります。

これまで帯広市が提供してきたサービスを切り離すという意味、そこまで踏み込んで話をするのか、例えば、スケート場、ばん馬などを民間にお願いするという大きな話まで踏み込むのでしょうか。

事務局 あくまでも目標値として整理しており、一般会計で4.1億円、企業会計で1.5億円としています。

第二次行財政改革からの継続した取り組み事項による効果額や人件費等から推計しています。

市場化テストは、民間活力を導入するにあたって、効率化はもとより、サービスの維持、向上につながる事が前提です。

委員長 次に「指定管理者制度」及び「市場化テスト」について説明をお願いします。

事務局 (指定管理者制度について説明)

(市場化テストについて説明)

委員長 「指定管理者制度」及び「市場化テスト」について質問等ありましたら発言してください。

E委員 これまでいろいろなサービスを民間委託しているが、サービスとしてはあまり変わらないような気がしますが、コスト的にはどのくらいのメリットがあるのですか。

事務局 指定管理者制度を初めて導入した時には、これまでと同じサービスを提供したと仮定し、保育施設、体育施設等の指定期間全体で約6億円の効果額を算出していました。

今回は指定管理者制度の折り返しであり、前回と同じような効果額が発生することはありません。

サービスの向上では、児童保育施設は保育時間の延長、サービスの充実などがあり、市営駐車場は、周辺の美化などが実施されています。

A委員 帯広市の民間委託や指定管理者制度において、最低賃金を下回る労働者の把握をしていますか。

事務局 法を遵守していただくのが大前提であり、これまでも所管課において確認しております。

モニタリングの中で対応をしていきたいと考えています。

A委員 帯広市ではないが、賃金に関する労働相談も受けることがあります。

本人が受け取る賃金は聞き取るしかないもので、人件費の算出にあたっては、細かく積み上げて算出していただきたい。

委員長 労働者の賃金に関しては、ブラックボックスとなりやすいところもあり、透明性を上げるためにもモニタリングは重要です。

次に、平成21年度の予算について説明願います。

事務局 (平成21年度予算の説明)

委員長 平成21年度予算について何か質問はありますか。

B委員 5番の柱として人口減少の抑制のポンチ絵がありますが、再掲という施策が多い、果たして柱になっているのか、表記の仕方を検討していただきたい。

委員長 エネルギーの項目があるが、全く神秘性がありません。

環境モデル都市を宣言するのであれば、もう少し思い切った取り組みが必要ではないか、どこの自治体でも実施している活動が目立ちます。

G委員 移住促進の中でリーフレットの作成とあるが、空屋対策なのか、次回で結構なので具体的な説明をお願いしたい。

C委員 いろいろな活動をしていく中で、帯広市の予算が必要な場合、一体誰にお願いしたら良いのでしょうか。

事務局 基本的には、担当している課が対応することとなります。

帯広市では、予算編成の基本的な考え方として、市民に最も身近な各部の自主自律による予算編成を実施しています。

市民に最も身近な各部が、市民の要望を吸い上げ、予算に反映させる仕組みとなっていますので、直接担当課に伝えてもらうのがよいと思います。

わからなければ直接財政課にご相談ください。

C委員 何らかの団体に入って、そのネットワークで声を出さないと伝わらないと思う。

事務局 市民提案型の事業もありますので、いろいろ活用できると思います。

委員長 ほかに何かありませんか。

それでは、次回に向けて事務局から何か連絡事項はありますでしょうか。

事務局 次回の開催時期ですが、年度が明けて6月頃を予定しております。

近づきましたら、早めにご案内させていただきます。

A委員 それでは、これを持ちまして第1回目の帯広市行財政改革推進市民委員会を終了させていただきます。